

AOB Seminar

講演者名: 篠島僚平 博士

所 属: 建築研究所

開催日時: 2018 年 2 月 22 日(木) 14:00-15:00

場 所: 理学研究科 合同 C 棟第 1 講義室 (N404)

講演題目&要旨:

沈み込む海洋リソスフェアの **Bending-Unbending** とプレート内応力場

海洋リソスフェアは、沈み込む際に曲率の増加する **Bending** を行い、沈み込んだ先では多くの場合再び真っ直ぐ近くまで曲げ戻る **Unbending** を行っている。本発表では、海洋リソスフェアの **Bending-Unbending** とそれに伴うプレート内応力場について、東北日本に沈み込む太平洋プレートを対象に行った以下の二つの研究について発表する。

一つ目は、アウターライズの曲げ形状・重力異常から海洋リソスフェアの強度プロファイル・レオロジー構造を推定するという従来の研究に、アウターライズでの海洋リソスフェア内の応力中立面の情報を加えることで、より詳細に強度プロファイルを推定することが可能になることを示した研究。

二つ目は、沈み込む海洋リソスフェアの **Bending-Unbending** 遷移領域における曲げ力学・曲率推移・スラブ内応力場の推定に関する研究。モデル計算から、年代の古いスラブの **Unbending** 時の曲率変化は非常に緩やかになる事が示唆された。